

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	82
事業名	学校給食費					
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 保健給食課				
	課長名	大門	担当者名	吉田	電話番号	011-211-3833
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	リサイクル堆肥を活用し、栽培活動に取り組む小中学校数の増加を図る。			
		長期	学校給食の調理くずや残食の生ごみを堆肥化し、その堆肥で育てた野菜を学校給食食材として提供することや、堆肥を活用した教材園等での栽培活動を通じて食育・環境教育の充実を図る。			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の調理くずや残食の生ごみの回収、堆肥化</li> <li>・フードリサイクル堆肥を使用して育てた作物の学校給食への提供</li> <li>・フードリサイクル堆肥活用校の増加</li> <li>・家庭地域への普及啓発</li> </ul>				
	実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食生ごみ回収校297校(市内の回収対象となる小中学校全校)</li> <li>・フードリサイクル作物提供校300校(全学校)</li> <li>・フードリサイクル堆肥活用校206校</li> <li>・教育委員会ホームページの更新</li> </ul>				
事業実施における工夫点	・関係団体、関係部局が共通理解を図り、諸問題を検討協議し事業を円滑に行えるように「『さっぽろ学校給食フードリサイクル』連絡会議」を設置している。					
対象者	児童・生徒	開始	平成18年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	学校給食法、学校教育法、食育基本法、札幌市教育振興基本計画、札幌市教育の重点「さっぽろ学校給食フードリサイクル」連絡会議設置要領					
他都市の状況	各自治体の実態に合わせて、学校給食生ごみの肥料化、飼料化等を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	6,233,552	6,044,000	6,177,810	6,079,507	
うち特定財源	1,228	1,366	1,448	1,418	
人工	324.0	319.0	317.0	317.0	
人件費	2,332,800	2,296,800	2,282,400	2,282,400	
計(事業費+人件費)	8,566,352	8,340,800	8,460,210	8,361,907	
事業費の内訳	令和3年度決算	【調理委託業務】5,263,615千円 【親子給食輸送費】508,844千円 【備品・消耗品費】159,251千円 【その他運営費】245,016千円 【フードリサイクル事業】1,084千円			
	令和4年度予算	【調理委託業務】5,341,367千円 【親子給食輸送費】503,397千円 【備品・消耗品費】140,352千円 【その他運営費】93,391千円 【フードリサイクル事業】1,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	リサイクル堆肥を活用し栽培活動に取り組む小中学校数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	205	206	206	202	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名	フードリサイクル堆肥活用食材を使用する学校の割合(%)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	100	100	100	100	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードリサイクル事業に係る食育・環境教育を通じて、児童・生徒の食に関する理解の向上を図ることができた。</li> <li>・フードリサイクル堆肥活用校はアクションプランの目標値202校を上回ることができた。</li> </ul>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の生ごみ回収は、市内の回収対象となる小中学校全校(297校)で実施した。</li> <li>・フードリサイクル作物の学校給食食材への提供、指導教材の普及については全学校を対象に実施した。</li> </ul>			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さっぽろ学校給食フードリサイクル」連絡会議を活用することにより、関係者の共通理解を図り、円滑な事業運営を行っている。</li> </ul>			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードリサイクル堆肥活用校においては、7割を超える学校で児童生徒の食べものに関する意欲・関心が高まった等、取組を通しての成果が出ている。</li> </ul>			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードリサイクル提供作物の拡充に向けて可能性を継続して検討していく。</li> <li>・配付した指導教材(Ⅴ)や「食に関する指導の手引き」の学校における活用の啓発をする。</li> <li>・家庭、地域との連携推進として、保護者や地域の方にもフードリサイクルへの理解を深めていただき、児童生徒が家庭や地域においても同様の取組が行えるよう啓発を行っていく。</li> </ul>				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	・児童生徒の意欲向上など、取組を通しての成果が出た。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 食育・環境教育の充実を図るため、例年実施している項目や内容を基本として、家庭・地域との連携の推進に努める。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 上記のとおり、例年どおり基本的な内容等に基づいた予算編成とするとともに、次年度についても効率的かつ適正な執行に努める。		見直し効果額	0